

柔道整復師は「骨」「筋」「腱」「関節」などの運動器を治療の対象にしています。

柔道整復師が治療を行う場所を施術所といい、「接骨院」「整骨院」「ほねつぎ」と全てに骨が付いています。

今回は柔道整復師と非常に関連深い「骨」という字について考えたいと思います。

骨という文字は物事の大切な部分として使われています。「骨格」「骨子」は重要な部分・内容と表現されます。「骨が折れる」という言

葉は、本当の骨折のほかに、

労力を要するという意味もあ
りますね。

他にも、骨身を削る（一生懸命に努力する）▽骨の髄まで（とことんまで徹底して）

▽骨を刺す（寒さなどが厳しく身に強く感じる）▽骨を拾う（他人がしたことの後始末をする）▽骨を惜しむ（労苦を嫌がる）▽骨に徹する（よく身に付いている）▽骨を埋める（一つのことには生涯をささげる）▽骨を休める（一休みをする）―などがあり、骨という言葉が生活の中でも大切な位置付けであることが分かります。

「体」という字を昔は「體」、骨が豊かと書きまし

技あり！

ほねつぎの

健康術

18

「骨」という言葉

た。その時代は「体育」という言葉を「體育」と書いたわけです。骨を豊かにする動きをイメージすると、体育やスポーツもまた違った印象を受けませんか。楽しく有用に行わなくてはと思いますね。

（長尾淳彦）

